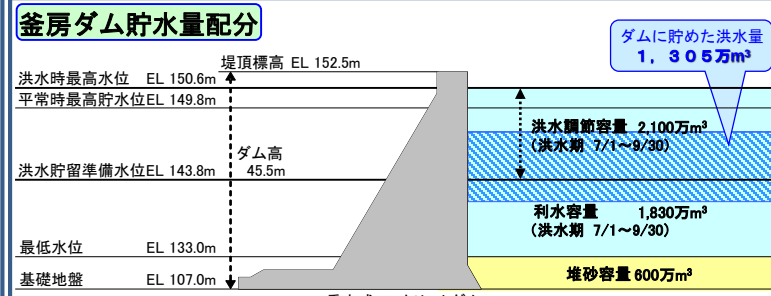
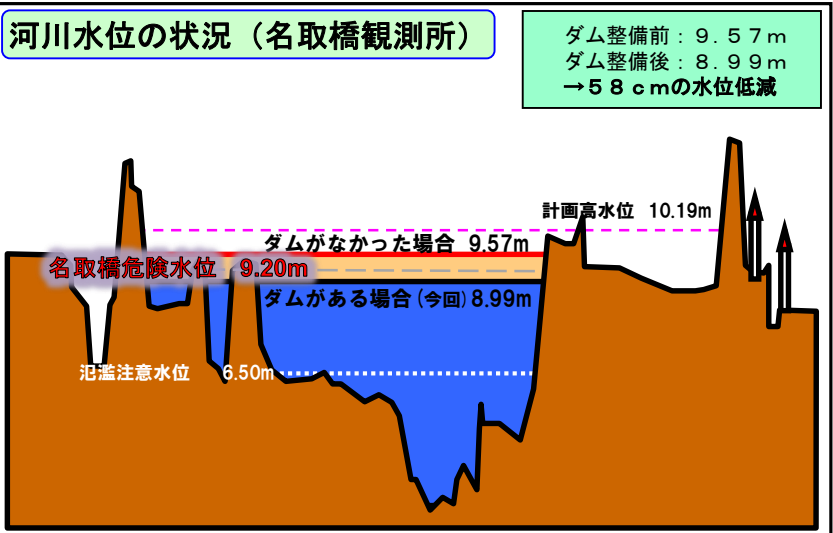
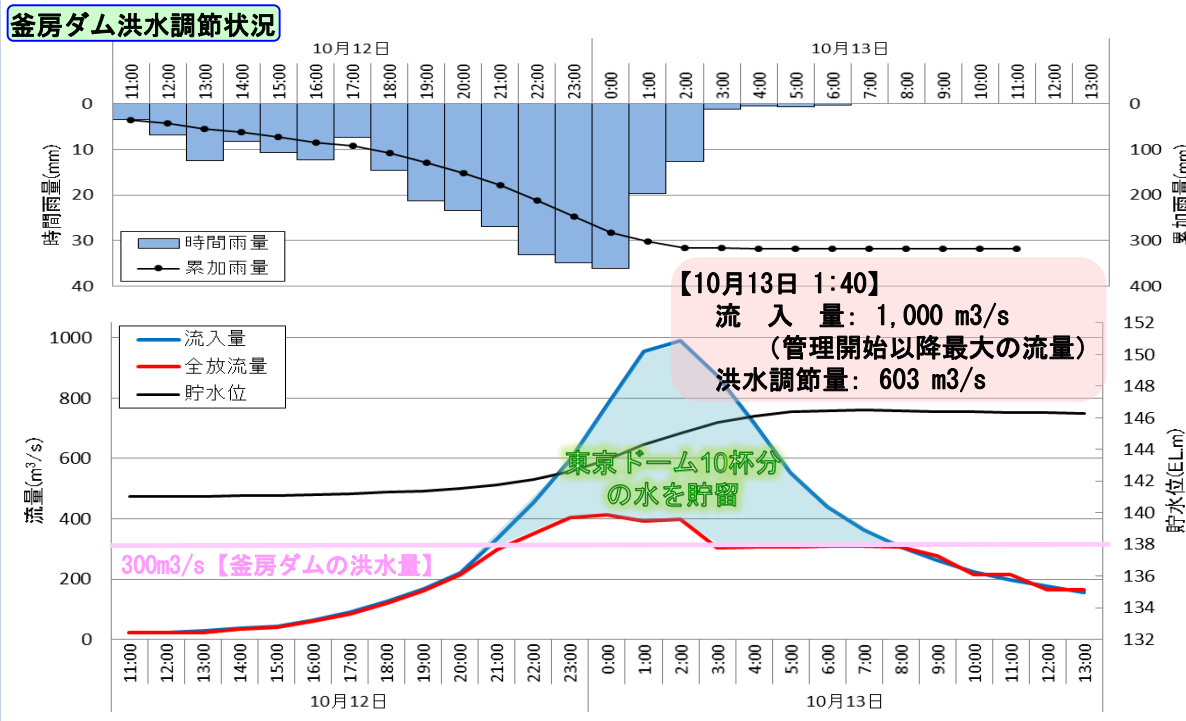


名取川水系 釜房ダムの水位低減効果（令和元年10月12日台風19号に伴う降雨）

- 釜房ダム上流域において、流域平均累加雨量は318mm、最大流入量は**既往最大となる毎秒1,000m³**を記録しました。
- 今回の洪水期間中において、**1,305万m³**（東京ドーム約10杯分）の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図りました。
- 釜房ダムでは、**下流域の被害をできるだけ軽減**するためのダム操作を行いました。
- ダム下流の名取橋観測所地点では、**58cmの水位を低減させ、危険水位への到達を防ぐ効果**があったものと推測されます。



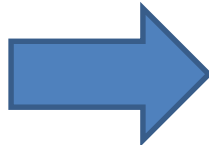
名取川水系 釜房ダムの水位低減効果（令和元年10月12日台風19号に伴う降雨）

釜房ダム貯留状況

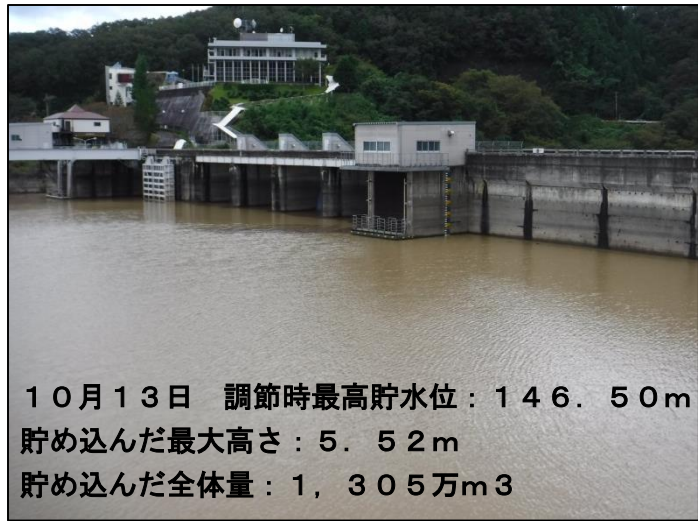
防災操作前



10月11日 貯水位：140.98m



防災操作後



10月13日 調節時最高貯水位：146.50m
貯め込んだ最大高さ：5.52m
貯め込んだ全体量：1,305万m³

防災操作中



名取川水系基石川 釜房ダム
【放流状況 3:50】
流入量745m³/s 放流量304m³/s

宮城県柴田郡川崎町大字小野 下流左岸



【放流状況 9:10】
流入量255m³/s 放流量245m³/s